

東日本大震災被災地支援

ボランティアとして被災地へ

今回の大震災の現状をテレビや新聞・雑誌の記事で見るだけではなく、自分の五感で感じなくてはならないという想いに駆られ、個人登録のできる『遠野被災地支援ボランティアネットワーク』に参加してきました。このネットワークは、完全自己完結で、国内外から自発的に集まったにもかかわら

ず、組織として成り立っています。優れた自主性にに基づき、被災者(地)に対し、「何かをしてあげる」ではなく、「何かをさせてもらう」という「人間として当たり前のことをする」という基本理念で成り立っています。

今回私は、甚大な津波の被害を受けた岩手県上閉伊郡大槌町の河川の清掃と陸前高田市の瓦礫の撤

去を行いました。

想像を絶する広範囲に及ぶ被災地を前に「途方にくれる」、「果てしない」などの言葉でも表現したい状況に涙も出ませんでした。

ボランティアに、ノルマはありません。ただ、何かあるとすれば、自分の身を守ること…。それだけリスクのある作業が続いています。ほんの少しの経験でしたが、一日の作業を終え、積み上げられた『土のう袋』を見ると、微力な

がら人間の力の大切さを感じられた反面、そのあまりの微力さに、無力感から解放されることはありませんでした。

日常に戻り、健康で働ける幸せを感じ、自分の仕事に真剣に取り組むことが復興につながると信じ、風化させないよう、この貴重な経験を周りに伝え、心をまだ現地に残してきてしまったので、再び足を運びたいと思います。

区支援課 小船 厚子



KYOTO SANGA F.C.

西京極で京都サンガF.C.を応援しよう!

9月18日(日) ザスパ草津戦は、山科区民デー100組400名様をご招待&当日チケットご優待!



J1復帰を目指し、一丸となって戦う京都サンガF.C.。皆様の声援で、ぜひとも勝利を勝ち取りましょう!

キックオフ前は、キッズアトラクションや、イベントが盛りだくさんのサンガフレンズスクエアでお楽しみください。

- 日時 / 9月18日(日) 午後6時キックオフ(予定)
- 場所 / 西京極陸上競技場兼球技場(右京区西京極新明町)
- 【100組400名様を無料でご招待!(ホーム自由席)】
- 対象 / 区内在住または通勤、通学の方
- 申込方法 / 往復はがきに以下の事項を明記のうえ、お申し込みください。
- ・往信用表面(あて先) 〒610-0102 城陽市久世上大谷89-1 京都サンガF.C. 山科区民デー招待係
- ・往信用裏面 ①山科区民デー招待 ②住所または通勤通学先 ③代表者氏名(ふりがな) ④電話番号 ⑤希望人数(4名まで)
- ・返信用表面 郵便番号、送付先住所、氏名



・返信用裏面 (記入不要)

9月5日(月)必着。申込多数の場合は抽選とし、抽選にはずれた方には、観戦優待券をお送りします。

【当日チケットご優待】

区民デーの試合当日、チケット総合センターに本紙もしくは山科区内在住または通勤・通学を証明するもの(運転免許証・社員証等)をご提示いただくと、当日券料金から大人200円引・小中高生100円引の優待が受けられます(ただし当日券販売がある席種に限りです)。

【その他】

当日、サンガフレンズスクエアの山科区民デーのブース内において、クイズに正解された方、先着100名(各50名)様に「もてなすくんのストラップ」や「清水焼の湯のみ」を差し上げます。区民の皆様、ぜひお越しください。

※多少デザインが異なる場合があります。

- 問合せ先 / 京都サンガF.C.事業部(☎0774-55-7603) 区総務課企画広報担当(☎592-3066)



山科区民ソフトボール大会



- 優勝 小野体育振興会チーム
- 準優勝 音羽川体育振興会チーム
- 三位 山階南体育振興会チーム
- 三位 百々体育振興会チーム

7月3日(日)に第35回山科区民ソフトボール大会が、勤修寺公園グラウンドで開催されました。

快晴の下に12学区の体育振興会チームが出場し、白熱した試合が繰り広げられ、小野学区が悲願の初優勝に輝きました。

優勝した小野体育振興会チームは7月24日(日)に岩倉東グラウンドで行われた京都市大会に山科区代表として出場されました。

- 問合せ先 / 区まちづくり推進課(☎592-3088)

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

第4回 区民活動きずなリレー

やましな駅前陶灯路 ~学生パワーで盛り上がる新しいイベント~

今年4月からスタートした「第2期山科区基本計画」。区民の皆様でつくり上げられた計画を、皆で実行・実現していきましょう。

今回は計画の5つの基本施策のうち「まちの魅力・観光を磨く」に関連して、新たな山科の魅力を作り出している「やましな駅前陶灯路」の実行委員会のメンバーである京都橘大学の田中雅之さんにお話を伺いました。

陶灯路は、平成18年に始まった灯りのイベントで、清水焼の器に水を張り、中に切子ガラスのグラ

スを置いて、その中でロウソクの火を灯すというものです。平成20年から毎年10月に山科駅前「やましな駅前陶灯路」が開催され、昨年の来場者は3000人を超えました。来場者へのアンケートでも、美しい、落ち着く、癒されるなど、大変好評で、次年度の開催が強く望まれていたそうです。

実施主体は駅前ビルを管理する京都シティ開発や清水焼団地協同組合、地元自治連合会、商店街、京都橘大学などで構成する実行委員会ですが、実際に陶器を並べる作業には「やましな駅前陶灯路学生実行委員会」として参加する約

60名の学生の力が発揮されます。3箇月をかけて検討する配置のデザインや、実行委員の出すキーワードを基にして開催のコンセプトを組み立てるのも、学生の役割です。



●点灯作業中の駅前陶灯路

今年2回生の大田さんは、大学のオープンキャンパスの時に織田ゼミが取り組んでいる「陶灯路」を知り、入学してすぐにスタッフとしての参加を決めました。学内で実施する「七夕陶灯路」も経験し、昨年の駅前陶灯路では学生実行委

員会の副委員長も務めました。

「灯りのイベントは色々ありますが、陶灯路は地場産業の清水焼を使っているのでもちろん、近くで見ても、ひとつひとつの器に表情があります。また、電気を使わずロウソクを使っているのも特色で、エコな素材であるロウソクの美しさをぜひ伝えたいです」とおっしゃいます。

将来は花灯路に匹敵するようなイベントに育ってほしいとのこと。この学生パワーがあれば可能でしょう。今年の駅前陶灯路は10月8日(土)に開催される予定です。区民の皆様、ぜひお立ち寄りください。

- 問合せ先 / 区総務課企画広報担当(☎592-3066)